【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第１区分
【発行日】平成20年12月4日(2008.12.4)

【公表番号】特表2008-520904(P2008-520904A)
【公表日】平成20年6月19日(2008.6.19)
【年通号数】公開・登録公報2008-024
【出願番号】特願2007-543070(P2007-543070)
【国際特許分類】
Ｆ０１Ｎ　3/28　(2006.01)
Ｄ０６Ｍ　15/693　(2006.01)
Ｄ０６Ｍ　11/77　(2006.01)
Ｄ０４Ｈ　1/42　(2006.01)
Ｄ０６Ｈ　7/00　(2006.01)
Ｄ０６Ｍ　101/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ０１Ｎ　3/28　３１１Ｎ
Ｄ０６Ｍ　15/693　ＺＡＢ
Ｄ０６Ｍ　11/77
Ｄ０４Ｈ　1/42　Ａ
Ｄ０６Ｈ　7/00
Ｆ０１Ｎ　3/28　３１１Ｓ
Ｄ０６Ｍ　101:00

【手続補正書】
【提出日】平成20年10月16日(2008.10.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
汚染防止装置の筐体内に汚染防止要素を据え付ける際に用いる据え付けマットであって、向かい合った主要外面と少なくとも１つの縁部を有する無機繊維材料断片を含み、前記少なくとも１つの縁部のみが互いに融着した繊維を有し、前記少なくとも１つの縁部の浸食速度が低下している、据え付けマット。
【請求項２】
汚染防止装置の筐体の内側及び外側エンドコーン部分の間の隙間に配置されるようにされたエンドコーン断熱マットであって、向かい合った主要外面と少なくとも１つの縁部を有する無機繊維材料断片を含み、前記少なくとも１つの縁部のみが互いに融着した繊維を有し、前記エンドコーン断熱マットの少なくとも一部をシールし、取り扱う際にこのエンドコーン断熱マットから出る、補足されたダストの量を低下させるエンドコーン断熱マット。
【請求項３】
前記少なくとも１つの縁部が露出されて加熱され、前記繊維を互いに融着させる、請求項１又は２記載のマット。
【請求項４】
筐体と、
前記筐体内に配置された汚染防止要素と、

請求項１又は３に記載の据え付けマット
を含み、前記据え付けマットが前記汚染防止要素の一部と前記筐体の少なくとも一部の間の隙間に配置されている、汚染防止装置。
【請求項５】
少なくとも１つの外部エンドコーン部位と少なくとも１つの内部エンドコーン部位を有する筐体と、
請求項２～４のいずれか１項に記載のエンドコーン断熱マット
とを含み、前記マットが前記筐体の内部エンドコーン部位と外部エンドコーン部位の間の隙間に配置されている汚染防止装置。
【請求項６】
無機繊維材料のシートから、汚染防止装置に用いる繊維材料の少なくとも１つの部位を切断するための方法であって、
レーザー装置を提供すること、
汚染防止装置に用いる無機繊維材料のシートを提供すること、
レーザー装置を操作してレーザービームを発生させること、及び
前記無機繊維材料シートに前記レーザービームを適用して、前記シートから繊維材料の少なくとも１つの部位を切断すること
を含み、この繊維材料の部位がレーザービームによって互いに融着した２以上の繊維の少なくとも１つの群を有する少なくとも１つの切断縁部を有する方法。